

はこだて花かいどう ～20年目のおもてなし～

1 社会資本の概要

函館市は、函館山から観る夜景や五稜郭、異国情緒あふれる西部地区等多くの魅力的な観光資源を有し、国内外を問わず年間約500万人の観光客が訪れる日本を代表する観光地のひとつとなっています。

本取組の舞台である国道5号函館新道の石川町・桔梗町の地域は函館市の北部に位置し函館新道、

函館・江差自動車道及び函館新外環状道路のインターチェンジがあることから、陸路で函館へ訪れる方々をお迎えする玄関口となっています。

また、国道の沿線には、学校や商業施設が建ち並び、地域住民の生活道路としての役割も担っています。



国道5号函館新道情報板
「はこだて花かいどう活動20年」



国道5号函館新道の植樹樹
両側に咲く色とりどりの花

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国道5号函館新道が開通したことを契機に「綺麗なお花を見て旅の疲れを癒やし、喜んでいただきたい」というおもてなしの気持ちを込め、参加者も親しみやすいよう「はこだて花かいどう」と愛称を付けて、平成16年度から花による道路の美化・清掃活動等を行っています。

お花が元気な状態で長く咲き続けるために、ミミズによる自然分解での堆肥づくりを取り入れたこと

で、春から秋まで綺麗に咲くようになり道路を利用される多くの方々に喜ばれています。

また、沿線企業や北海道開発局、函館市等と連携し、防災体験イベントを行っています。

冬季には、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルを設置し、地域住民や訪れる方々の目を楽しませる「シーニックdeナイト」に参加しています。



環境教育の一環
（堆肥場をつくるためミミズを採取）



防災展示コーナーを設置
体験イベント



冬の夜を彩るシーニックdeナイト

函館花いっぱい道づくりの会 北海道 函館市

3 活動の成果や波及効果等

平成16年の植栽時は約400名でスタートしましたが、20周年を迎えた令和5年は、職種や世代を超えて約800名が参加するまでに成長しました。

活動区間も約300mから約1kmと延長し、色とりどりのお花が道路景観を明るく演出しています。

冬季は、手作りワックスキャンドルやアイスキャンドルの灯りで歩道に彩りを与える、冬のおもてなし活動「シーニックdeナイト」が、道南地域で広く行われるようになり、令和6年2月は道南8か所で開催予定です。



幅広い世代が活動に参加



咲き終えた花を一つずつ
取り除きます



牛乳パックで作る
キャンドル作りの様子



アイスキャンドル

喜びの声



受賞者

函館花いっぱい道づくりの会
代表
折谷 久美子

コメント

この度の受賞で、はこだて花かいどうの活動を多くの方々に知っていただき大変嬉しく思っています。令和5年度活動20周年。長年活動を支えて下さった全ての皆さんに感謝するとともに、未来を担う子供たちにつなげていけるよう、これからも地域一体で取り組んでいきたいと思っています。

活動の内容

- 環境に配慮した植栽、維持清掃活動（資源循環型、CO₂削減、SDGsの取り入れ）
- 地域の子供たちへの環境教育
- 防災体験イベント等の実施

活動の経歴

平成16年 函館花いっぱい道づくりの会設立
平成18年 シーニックdeナイトへの参加開始
平成19年 北のまちづくり賞奨励賞（北海道知事）
平成22年 全国みどりの愛護功労者（国土交通大臣）
平成23年 函館市都市景観賞（函館市長）
令和 3年 道路功労者表彰（国土交通大臣）

所在地

北海道函館市石川町～桔梗町地区

活動主体及び連絡先

函館花いっぱい道づくりの会
TEL:0138-45-7576 FAX:0138-45-7701

対象となる社会資本

国道5号（函館新道）
※管理者 国土交通省北海道開発局
函館開発建設部

